

2/23(日)に開催されました、大高城兵糧入れ再現ウォーキングに森松武将隊3名参加いたしました。大高地区は、織田信長が今川義元に勝利した「桶狭間の戦い」ゆかりの地です！当時今川義元の配下だった**徳川家康（松平元康）**が兵糧入れをした「大高城」があったことで知られており、**信長攻路**のコースの一部にもなっています。



大高城 兵糧入れ再現ウォーキング

信長攻路とは

戦国武将・織田信長が天下布武に向け、大きく躍進するきっかけとなった「桶狭間の戦い」。信長攻路とはこの「桶狭間の戦い」で信長が駆け抜けた道のりのこと。



採用を取り巻く環境の変化

森 直樹（代表取締役社長）



近年、人材採用を取り巻く環境は急速に変化しています。有効求人倍率（一人の求職者に対しての求人数）は2010年に0.52であったのが、2019年には1.63となり、求職者1人に対しての求人数が1.63と上回り、人手不足の状況であることがわかります。また以前の弊社の採用状況を振り返ると、知人の紹介、職業安定所からの問い合わせ、そして求人媒体からの応募という段階で採用が決まっていました。つまりほとんど人を取りに行くという姿勢でなくても、最低限の人員は確保できていたという状況です。そしてそれは過去の話となり、媒体に掲載するにしても多数の募集からいかにして森松の募集が目にとまるかの工夫、そして内容から求職者の皆さんに森松が魅力的な会社に見えるかどうか、企業そのものの評価が応募の結果となって現れます。そういった意味では、森松も企業として働きやすい環境であるか、例えば有給休暇の消化率や月平均の残業時間などが一つの目安となるでしょう。これらの数字は働く側にとっての基準であるだけでなく、雇用する側にとっては最小限の時間で利益を出す、つまり労働生産性が高い企業、と言えるでしょう。また労務費に無駄が無いとも考えることができます。つまり人が入る企業＝働きやすい企業は結果として存続できる企業、良い企業であり、人の入らない企業＝働きにくい企業は存続できない企業、中身（人材）の来ない、将来性の無い企業となります。これからも森松が存続する企業であるために、いい人材が集まる＝働きやすい環境を目指していきます。

コロナウイルス

吉岡 孝記（営業部）



コロナウイルスが中国武漢発生猛威を振り、あれよあれよと言う内に感染者が3万人を超え、いまだ衰えていません、中国国内で死者数が1000人を超え、残念ながら日本でも感染者が出て、感染力の強さに驚いています。国よりチャーター便を出して邦人帰国も行っています。最近では、クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号に乗船している人から感染者から出ていまだに、下船できず3700人もの方が缶詰状態になって大変苦労されていることが良く報道されています。見ている方は早く下船させてあげられない物かと思いますが、2次感染を考えるとなかなか難しい問題です。また、経済でいうとコロナウイルスにより中国企業もネット出前サービス会社、スマートフォンメーカー、配車サービス会社などいろんな影響が出ているようで、中国人民銀行が金利を下げたり、いろいろ支援をしているようです。日本経済にも航空業界、旅行業、小売店、輸出品等かなりの影響が出始めています。今までいかに中国マネーの恩恵を受けていたかが改めてわかる気がします。これは日本以外の外国でも多かれ少なかれ影響はあると思います。実際アメリカでは春節による中国人観光客が減少したことで100億ドル（約1兆800億円）の損失が出ると発表されたそうです。また、東京オリンピックにも影響が出ないか懸念されてもいます。ただ、人間はこれまでもさまざまな感染症と対決してきました。14世紀 黒死病（ペスト）、16世紀天然痘、19～20世紀コレラ、1918年～19年スペインかぜ、1980年HIV、2002年SARSです、少しでも早くワクチンができることを期待します。予防法もいろいろテレビ等でも聞きますが、まずは手洗い、うがい、適度な水分補給、免疫力を高めることが大事だと感じます。私は子供が生まれてから今まで21年風邪を引いて休んだことがありません。これは、家に帰ると必ず手洗いうがいをするようになってからです。また、最近はこのまめに水分を取り、少し体調が悪いと感じた時は、できるだけ睡眠を取るようになっています。いいことは習慣にすることで継続することが大事だと思います。

スロージョギング

安井 浩二（企画営業部）



約2年前から比べると私のウエストが6センチ以上増えました。年齢的に考えれば代謝の衰えは一般的ですが、ショックだったのが昨シーズンオフに購入した冬ズボンが今シーズンに新品をおろして履こうとしたら履けない。このまま進めば、もともと痩せ型の体型なのでお腹だけが、ポッコリしてくると昆虫体型になりかねない。ダイエットとは無縁とっておりましたがウエストを絞らなければと思い「スロージョギング」を試してみることにしました。スロージョギングとは歩く程度のゆっくりした速度で走るジョギング法で有酸素運動に分類され体脂肪燃焼に効果的で、ウォーキングに比べて約1.6倍のカロリーを消費すると言われていています。ここ数年はシティマラソンに参加していたので走ることに抵抗がなかったので始めてみました。走り方は「フォアフット走法」といって足指のつけ根から着地し、歩幅は細かく普段走る半分くらいでちょこちょここと。時間は1kmあたり10分程度で走ります。マラソンの練習をしていた時はかかとから着地する「ヒールストライク」で1kmあたり約5～6分で走っていたので始めは慣れるまで抵抗がありました。ただ、今までと違うのはフォアフット走法はアキレス腱のバネを利用することで、体への衝撃が緩和され、かかとで着地した場合の約3分の1の衝撃で済むようで5km程度を走ったところでも膝や腰への負担が少ないのことも実感しました。しかし、この時期はマラソン大会に向けて練習もしている人も多く、スイスイ抜かれてゆくのがちょっとツライ感じですが、そこはガマンです。そんな調子で現在まで、10km程度を週一で約3ヵ月続けております。効果としましてはウエストは3センチ以上減りズボンが履けるようになりました。このスロージョギングは「疲れにくい」のが魅力です。今後も継続していける感じです。

体調不良

村橋 敦士（経理部）



2019年4月から息子が保育園に通い始めましたが、とにかく体調を頻繁に崩す。友達から有難く頂戴してくるのか、若しくはカラダが単純に弱いのか、咳・鼻水は日常茶飯事、一時期は2週間に1度は発熱と体調を崩す事があった。そんな訳で、夫婦の仕事のスケジュール等を踏まえ、休めない場合は体調が芳しくない子供達を預けられる病児保育を利用する等している。そんな、カラダの弱い息子の為、絶対インフルエンザに罹るだろうと予想していた。しかし、そんな親の予想（期待?）を裏切り、何と娘が年明け早々にインフルエンザを発症した。保育園に通い始めて4年から5年を経過するが、娘が体調を崩した事はごく僅かであり、当然、インフルエンザに罹った事もなく、妻からの連絡は驚いた。幸い、インフルエンザの予防接種を打っていた為、高熱には至らなかったが、息子に移る可能性もあり、当然寝室は別、マスク着用、手洗い・うがい等を徹底した結果、家庭内にインフルエンザが流行する事はなく、夫婦で安堵した。ところが、インフルエンザが終結したのも束の間、今度は私に39℃の高熱が襲った。インフルエンザを疑い、検査の為にフラフラしながら内科を受診した。結果は普通の風邪で3種類の薬を処方された。食欲はないものの、薬を飲む為にゼリーやお粥を食したが、2日目も39℃台、3日目に漸く38℃台に下がり、平熱になったのは初日から数えて4日目だった。今まで、こんなに長く高熱が続いた経験はなく、本当はインフルエンザを患っていたのではと疑問もあった。とは言え、この4日間、基本的には寝室に閉じ籠り、極力子供との接触を避けた甲斐あり、家庭内に風邪が蔓延する事はなかった。1月は娘のインフルエンザに始まり、私の体調不良と散々な1ヵ月を過ごした。今年は4月から娘が小学生となり、新しい環境となる為、体調の変化には気を付けつつ、今年一年間は健やかに過ごしたい。

名古屋モーターショー

大橋 康成（配送部）



昨年11月21日から24日に開催された車好きな友人と名古屋モーターショーに行ってきました。彼は2年前は東京まで見に行ったそうで、今回も東京まで行くか迷ったそうです。展示車詳細を見たところ、東京まで足を運ぶほど惹かれるものが感じられず、規模は小さくなるけれども、今回は名古屋モーターショーに行くことにしたとのことで、誘われて一緒に行ってきました。友人は写真が趣味で多く撮っていました。名古屋では東京と規模が違うのでメーカーの思うところが全て表現できていない事もあるかと思いますが、名古屋モーターショーのみでの感想になります。まず、過去に比べてコンセプトカーが減っている。トヨタに関しては、ほぼコンセプトカーで攻めてきていますが、市販車とはかけ離れた未来の車のようなものばかりで、個人的には近い将来市販化されそうなもののほうがワクワクするので少し残念な感じ。しかしMIRAIとヤリスがあっただけ救われました。ダイハツ、スズキはいつもどおりコンセプトカーが多くどちらも楽しませてくれました。でもいつも名古屋モーターショーはこんなものでしょうか、やっぱりコンセプトカーを見たければ東京モーターショーかなと思いました。展示以外でも毎回いろいろと趣向を凝らしたイベントがあります。今回はスポーツカーや市販車の試乗会もいつもより拡大している気がしましたし、4WD車のオフロード試乗会は、出来ませんでしたが見るだけでも楽しめました。日産GT-RやフェアレディZなどは皆興味を示しています。NSXは運転席に座るのに順番待ちで長蛇の列ができていました。スポーツカーの価格は上がる一方で300万以下で買えるものはもうほとんど消えてしまいました。若い人、普通の人には高嶺の花の存在です。購入したら長く付き合う事になるもの。だからより良いものを買いたいと思うのです。

名南中学校 職場体験

2/4～6の3日間に渡り、名南中学校より櫻井さん、満永さんの2名が職場体験学習に来られました。要工場、本社工場で実際の業務を体験してもらい、どの現場でもとても真剣に取り組んでいる姿が印象的でした。この経験を今後の生活に役立てて頂ければと思います。



なるようにしかならない...なんとかなるさあ

大見 延子(経理部)



私の母は67歳の時に脳梗塞で倒れてから11年が過ぎました。最近では娘達の事もわからなくなっているのか、壁の方に視線を向けて呼んでも反応がありません。食事の介助ぐらいしかしてあげられる事がないので...毎週行っていますが飲み込む力も衰え、食べる事もままならなくてなっています。排尿も週に1~2回は出ない時もあります。持病の糖尿からか首のまわり、腕などに水膨れができ、治りかけると痒そうに動かない手で変な動きを繰り返したりしています。そんな姿を見ていると『生きる』って大変だなあと...つくづく感じます。自分自身も往復1時間かかる施設への運転も仕事帰りに寄る事が苦痛になってきました。母が笑顔で迎えてくれていた間は疲れていてもがんばれましたけど、この先の事を考えていると母の口癖で『なるようにしかならない...なんとかなるさ』が頭に浮かんできます。しかし、今の私には性格なのか器の小ささなのか、言葉に出してもなかなか割り切る事が出来ません。そんな時に生まれた初孫も1歳の誕生日を迎え一生餅のお祝いもしました。一升餅の祝いとは一升(2kg)のお餅を丸く平たい形にして背負わせて『一生、円満に過ごせるように』という願いを込めて祝う行事。自分の足でしっかり立って、走って、スクワットまで出来るように。食事もよく噛んで美味しくように大きなお口を開けてぱくぱく食べています。ニコニコ笑顔で迎えてくれる孫に支えてもらいながら、対照的に老いていく母と接しながら、『なんとかなるさあ』の言葉を思い出しながら...

